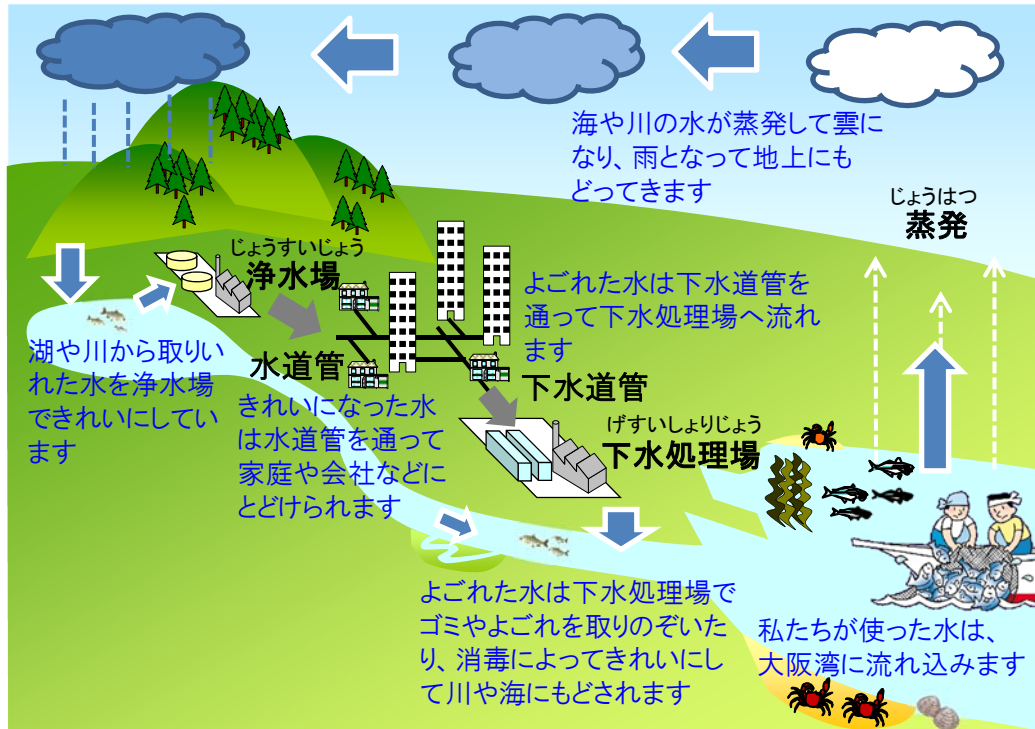


水のじゅんかんと環境

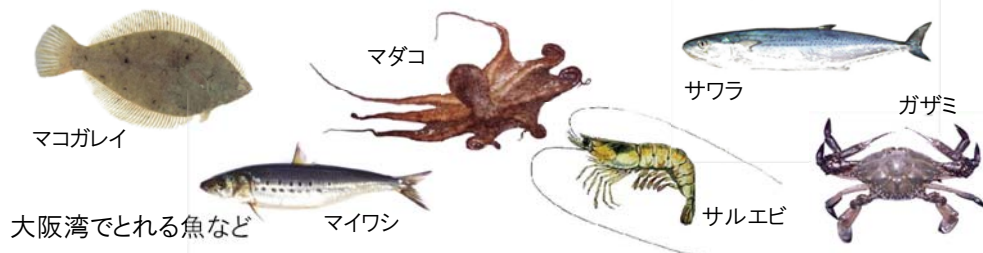
かんきょう

水のじゅんかんと生き物

水は森や川から海へ流れ、蒸発して雲になり、雨となって地上にもどってきます。水はいろいろな場所で、人や生き物の生命を支えています。私たちが使っている水は、湖や川から取りいれてきれいにし、使ったあともきれいにして川や海にもどされます。

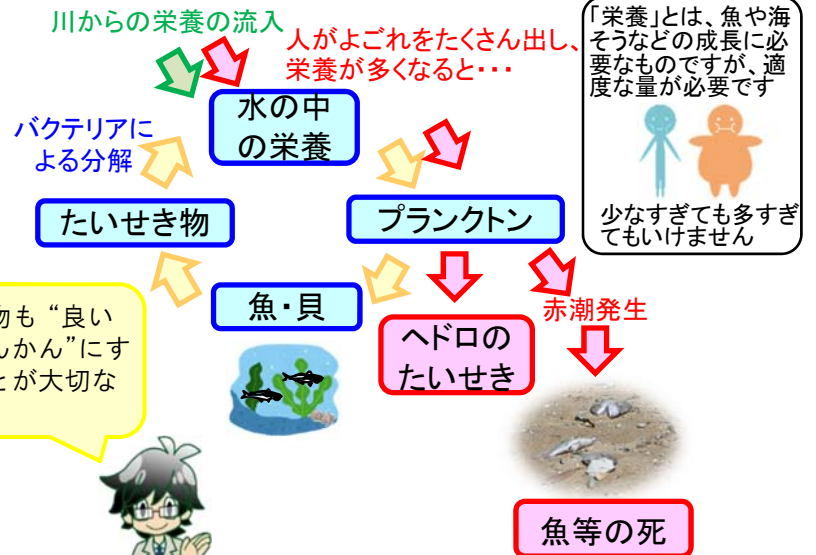
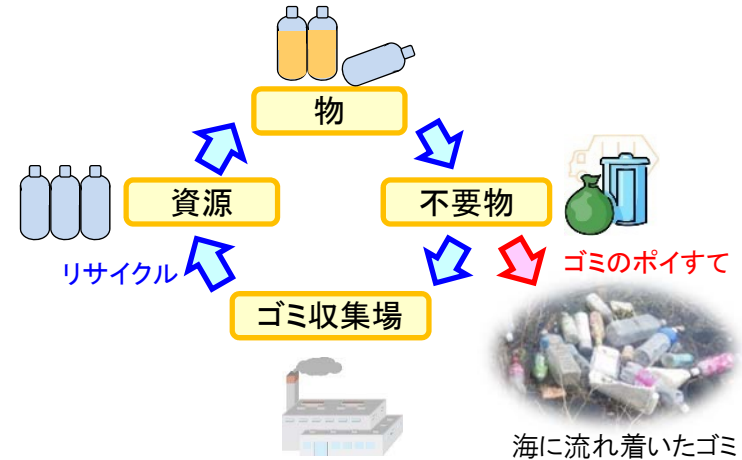


森や川や海にはいろいろな生き物がたくさんいます。私たちは大阪湾(おおさかわん)から魚や貝などをとって、食べています。



良いじゅんかんと悪いじゅんかん

ゴミを分別して回収に出したり、水の中の栄養が適度にあるときは、青色や黄色の矢印の“良いじゅんかん”になります。しかし、ゴミをポイすてしたり、川から入ってくる栄養が多すぎると、赤色の矢印の“悪いじゅんかん”になります。



よりよい大阪湾のために

おおさかわんせいせい



ゆたかな大阪湾を守る取り組み(大阪湾再生)

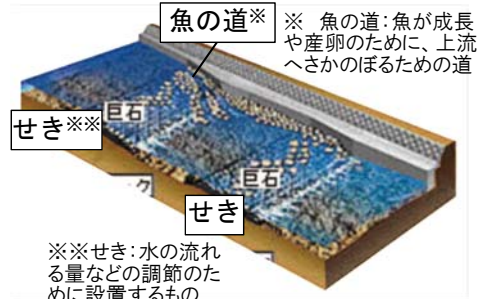
○水をきれいにする

私たちが使った水をきれいにするための施設(しせつ)(下水処理場)をつくったり、水をきれいにする技術を向上しています。



整備した下水処理場
(南あわじ市広田じょうかセンター)

大阪湾に流れこむ川のごみをへらすために、自然の力で水をきれいにする施設(しせつ)をつくったり、川の底にたまったよごれを取りのぞく作業などを行っています。



※※せき:水の流れる量などの調節のために設置するもの

自然の力で水をきれいにする施設
(イメージ図)

○海や川のごみを集める

海にういているゴミ(木片や石油製品など)や油を船で回収します。川や河原のごみは雨が降ると大阪湾に流れこんで海をよごし、生物にえいきょうをあたえてしまうため、国や府県などの機関だけでなく地域のみんなでゴミひろいを行っています。



ゴミや油を回収する船 木等のゴミ回収の様子



ゴミ回収活動
(リフレッシュ瀬戸内)

ゆたかな大阪湾を守り、よりよくするために私たちができることは何だろう？